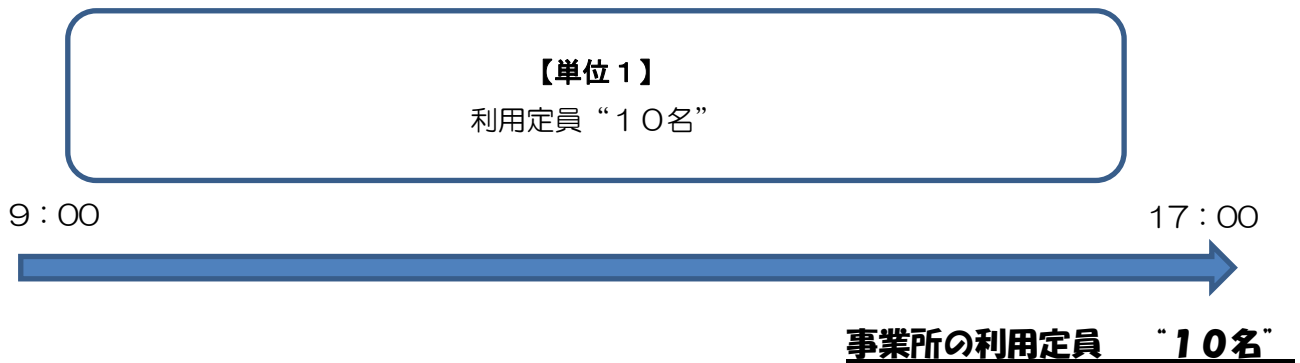


看護職員が必置ではない通所介護事業所の例（例１、例２）

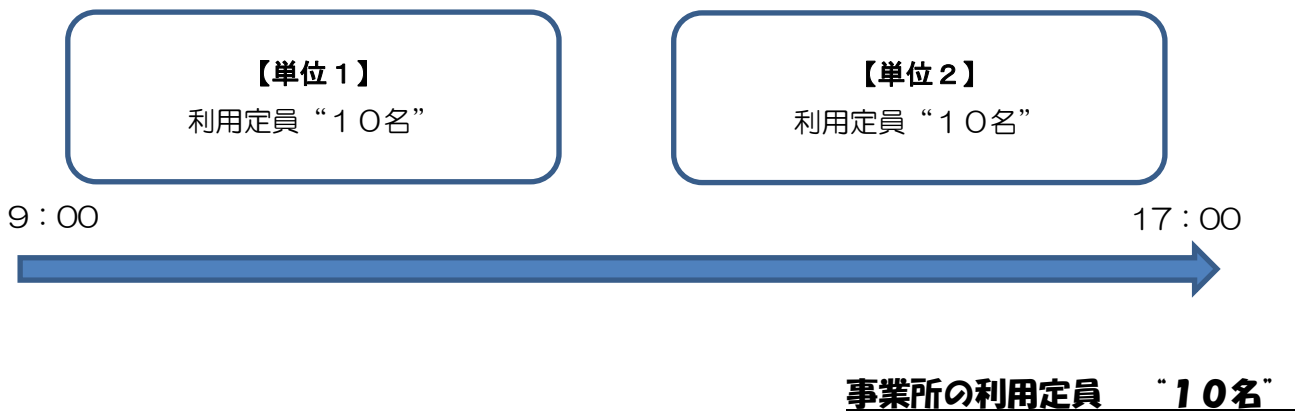
（ 東京都規則第 17 条第 2 項の適用により、『看護職員又は介護職員』の配置 ）

次の例のようなサービス提供を行っている場合は、看護職員が必置ではありません。

【例１】月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供



【例２】月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供

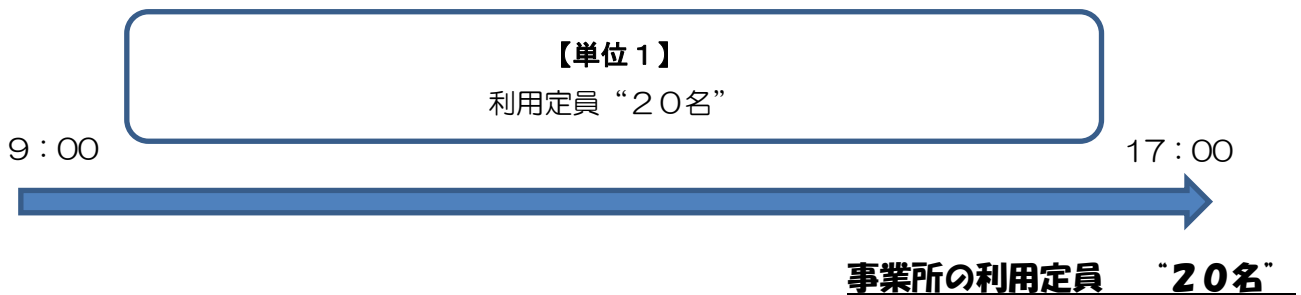


看護職員が必置となる通所介護事業所の例（例３～例６）

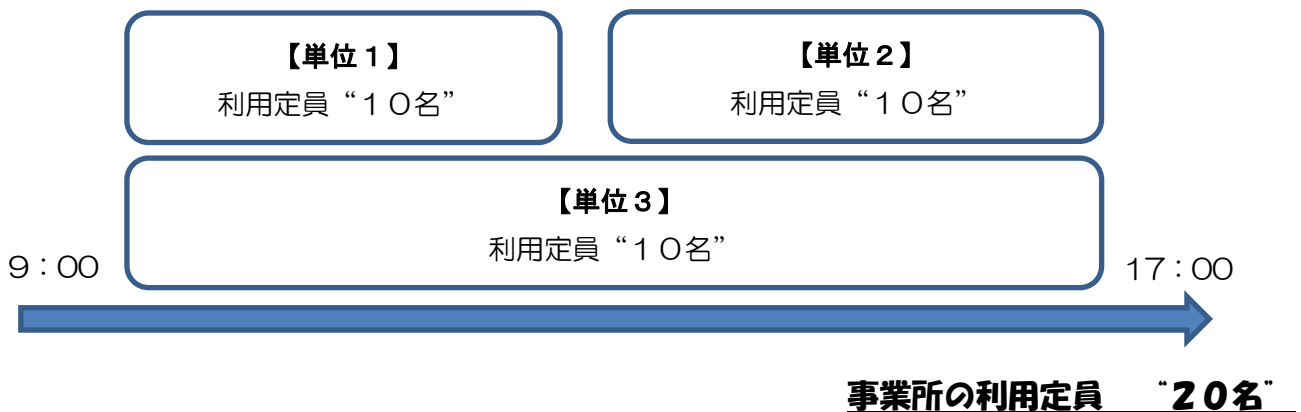
（ 東京都規則第 17 条第 1 項適用 ）

次の例のようなサービス提供を行っている場合、看護職員の配置が必要です。
実施する全ての単位に、看護職員を配置してください。

【例３】月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供

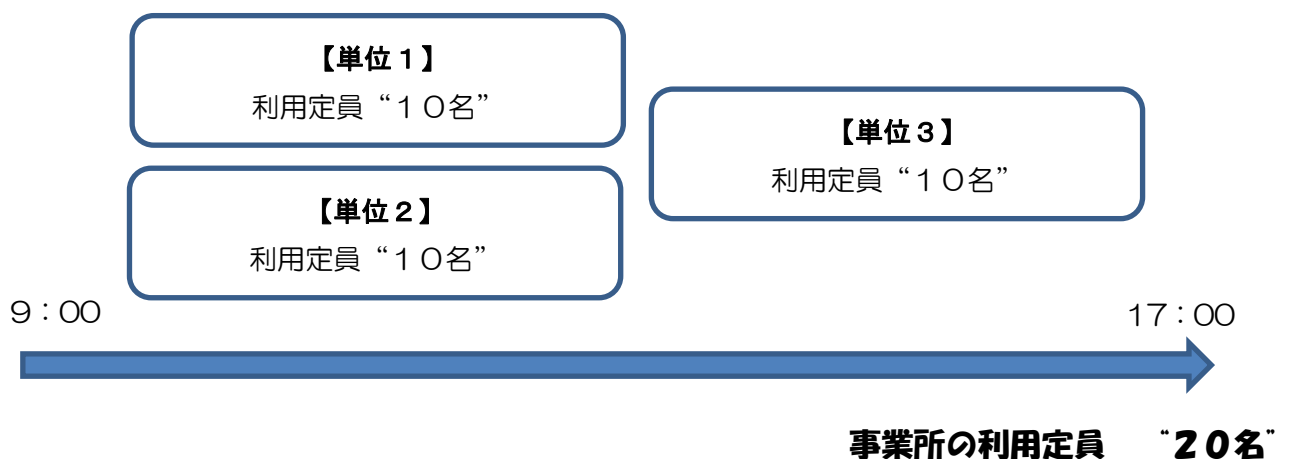


【例４】月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供



※ 各単位の利用定員は 10 名であるが、事業所としての利用定員は 20 名であるため、各単位について看護職員の配置が必要。

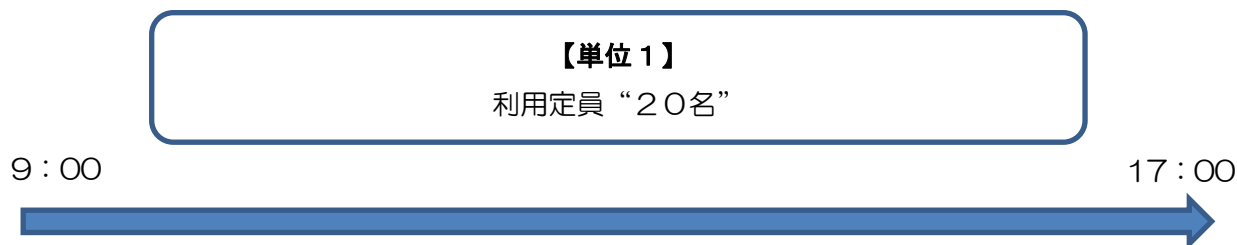
【例5】月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供



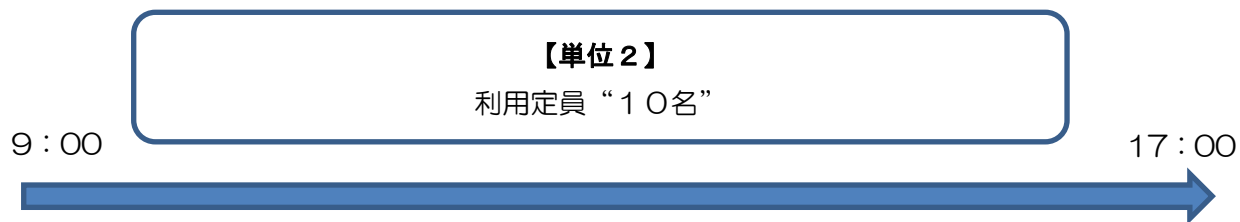
※ 午後の時間帯において、同時にサービス提供を受けることができる利用定員は10名であるが、事業所としての利用定員が20名であるため、【単位1】【単位2】のみでなく、【単位3：午後】についても看護職員の配置が必要。

【例6】

●月曜日～金曜日で、以下の通所介護サービスを提供



●土曜日、日曜日で、以下のサービスを提供



事業所の利用定員 “20名”

※ 土曜日、日曜日において、同時にサービス提供を受けることができる利用定員は10名であるが、事業所としての利用定員が20名であるため、【単位1：月～金】のみでなく、【単位2：土曜日、日曜日】についても看護職員の配置が必要。